

植物多様性センターの「もうひとつのマメ科の花」

マメ科の花というと、スイートピーやフジのような蝶形花が一般的ですが、左右相称の花もあります。学習園でちょうど咲き出したのが、左右相称のマメ科、ジャケツイバラです。花は5弁花で、特殊化した小さな上弁は白っぽく蜜標の赤い斑点がついています。その付け根の奥には蜜があり、チョウやハチが花系に止まって吸蜜すると、ちゃんと体表に花粉がつく仕組みになっています。



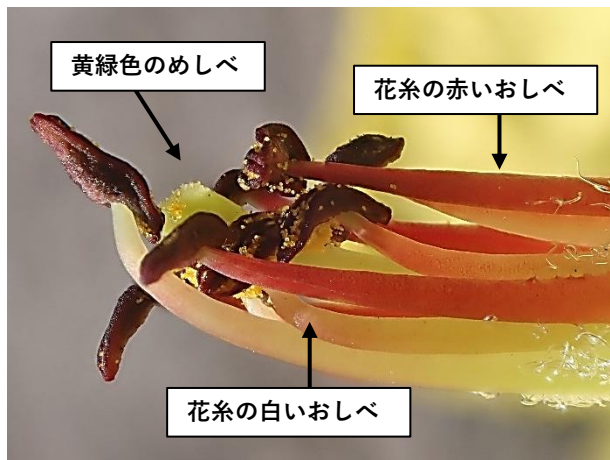
花序:総状で上を向き、1花房に数十輪の花を横向きにつける



花の構造:5枚の花弁のうち上弁が小さく特殊化している



上弁の付け根:口吻を差すための槌状の突起がついている



めしべとおしべ:上側の花系は赤く、2色効果でよく目立つ